



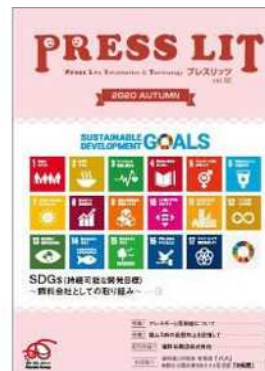
新鮮・安全・おいしい マルトグループ
豊橋飼料株式会社

住所：〒441-8074 愛知県豊橋市明海町5番地の9
電話番号：0532-23-5060
担当者：鈴木、大脇
主要業務：飼料製造業、環境事業、畜産事業、食品販売事業
ホームページ：http://toyohashi-shiryō.co.jp/

目指すゴール



昭和6年（1931年）の創業からマルトグループ各社とともに、飼料・畜産・食品業界の変遷を見続ける配合飼料メーカーです。マルトグループ経営理念「国内畜産の未来をひらき、食卓に信頼をお届けする」をモットーに「新鮮」、「安全」、「おいしい」を消費者の皆様方へお届けすることを使命と考えております。当社は事業を通じて、持続可能なまちづくりの実現に貢献してまいります。



公益財団法人豊橋善意銀行への
当社ギフト商品の寄付
2020/4/27 豊橋飼料(株)本社
豊橋善意銀行荒木理事長（右）、
当社平野社長（左）

SDGsの取り組み紹介

『フードバンクや豊橋善意銀行への当社ギフト商品の提供【ゴール1・2】』（写真）、『事務所や工場から排出されるCO₂の削減【ゴール7】』、『パートナー社員の正社員転換【ゴール8・10】』、『ペーパーレス化へのシフト【ゴール15】』、『SPF豚（通常より衛生的な環境で育てた健康な豚）の供給【ゴール12】』を積極的に取り組んでいます。

さらに、当社は配合飼料メーカーとしての強みを活かし、次の3つのユニークな取り組みも実施しております。これらの取り組みはフードチェーンの大部分に携わることが可能であり、マルトグループ各社が協調し合い持続可能なまちづくりの実現に貢献し続けております。

- (1) 配合飼料製造による食品ロス削減【ゴール2・11・12】
配合飼料の原料の一部は食品製造過程で発生した食品副産物です。食品として利用できない食品副産物を飼料化することで、食品ロスの削減に貢献できます。一例として、搾油後の油かすや精米加工時の米ぬか等が挙げられます。
- (2) 持続可能な農業への寄与【ゴール2・11・12】
製造した配合飼料は家畜に給餌されます。生産した畜産物は消費者にお届けし、発生した排せつ物は堆肥プラントで堆肥化されます。このように当社が生産から販売までを責任を持って携わることで、持続可能な農業に寄与しております。
- (3) 家畜排せつ物中の窒素やリンを減らして環境負荷を低減【ゴール6・11・12・14・15】
当社は日々進歩する新しい技術を取り入れ配合飼料を開発しております。これらの配合飼料を食べた家畜は栄養成分を効率よく利用することができ、排せつ物中の窒素やリンを減らすことができます。